

れいわ ねんど
令和3年度

ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

みんぞくげいのう わかこま じどうげき
民族芸能アンサンブル若駒 児童劇

きょうげん ずっとけ 狂言ばなし どろピカぽん



ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそごうじぎょう じゆんかいこうえん
「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演—」

わがくに いちりゅう ぶんかげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこう こうえん こども すぐ ぶたいげいじゆつ
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を
かんしやう きかい える こども はっそうりやく のうりやく いくせい しょうらい げいじゆつか
鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の
いくせい こくみん げいじゆつかんしやうのうりやく こうじやう もくてき じぜん こども
育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供
たちじつえんしどうまた かんしやうしどう おこな じつえん こども さんか
たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいま
す。



みんぞくげいのう わかこま
民族芸能アンサンブル若駒とは

みんぞくげいのう わかこま ねん おおさかし けっせい
民族芸能アンサンブル若駒は、1969年、大阪市で結成しました。

きょうげん しゃみせん つづみ よこぶえ にほんぶよう にほん でんとうげいのう まな かくち げいのう
狂言、三味線、鼓、横笛、日本舞踊など、日本の伝統芸能を学び、各地の芸能

ほぞんかい えんしゆつか かたがた しどう う さくひん つく だ
保存会、演出家の方々の指導を受けたくさんの作品を創り出してきました。

ねん ぜんこくじどう せいしやうねんえんげきしやうぎかい ねん にほんじどう せいしやうねんえんげき
1971年、全国児童・青少年演劇協議会に、1997年に日本児童・青少年演劇

げきだんきやうどうくみあい かめい こども む さくひん つく だ
劇団協同組合に加盟し、子供たちに向けて作品をたくさん創り出してきました。

げんざい ほいくえん ouchiえん しょうがっこう ちゅうがっこう こうえん わだいこ おど きやうしつ おこな
現在、保育園、幼稚園、小学校、中学校での公演と、和太鼓や踊りの教室を行
っています。

民族芸能アンサンブル若駒

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-4-9
TEL 06-6926-1244 FAX 06-6926-1245
<http://www.wakakoma.co.jp>
Email geinou@wakakoma.co.jp

知ってますか？ ~10月1日は「国際音楽の日」です~

ねん 1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年
から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていく
ために「国際音楽の日」とすることとしました。

にほん ねん 1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

きょうげん ずっこけ狂言ばなし どろピカぽん

げんさく きょうげん かみやまぶし かみなり あたりばかま
原案:狂言 「柿山伏」 「神鳴」 「二人袴」

ほんあん えんじゆつ まつものり
翻案・演出:松本則夫

はじめに

「狂言」とは、今から約650年前に創られ、現在まで上演されている日本の伝統芸能です。能舞台という場所で、能と一緒に演じられる事が多く、喜劇といわれるおもしろいお芝居です。今から始まる「ずっこけ狂言ばなし」とは、この「狂言」が分かりやすく、さらにおもしろくなったお芝居です。まあい舞台を取り囲んで観ていただきます。「やまぶし」や「かみなり」など、個性豊かなキャラクターが登場します。むずかしい言葉や、なが〜いセリフはありません。みなさんで「狂言」を体験していただくコーナーもあります。ずっこけ狂言ばなしどろピカぽんを、観て、体験して、日本の伝統芸能にふれるひとときを、どうぞ皆さんで楽しんで下さい。

ふたり
二人ばかま



みんなで体験
狂言ワークショップ



その場でたちあがっていただいて、みなさんで狂言の基本姿勢などを体験します。

かみなり



用語解説

かみなり
・神鳴
雨を降らせたりカミナリを落とす神様。
いし
・医師
お医者さん。



かき
柿とやまぶし



用語解説

やまぶし
・山伏
山の中で修行をし神通力という今で言う超能力を身につけたお坊さん。
・畑主
畑の持ち主。

あらすじ
人間の嫁をもらって、たぬきの世界で一番になろうとやって来た親子。子だぬきは、殿様に会うために袴をはいて行きますが…

用語解説

はかま
・袴
卒業式や結婚式など、きちんとした席、場所で履く和服。

あらすじ
雲を踏み外して地上に落ちてきた神鳴は腰を痛めて動けません。そこに居合わせた医師が、腰痛を治そうと…

あらすじ
おなかすかせた山伏が柿の実を盗んで食べている。それを見つけた畑主は、「あれはカラスじゃ、猿じゃトンビじゃ」と言いつつ山伏をからかいます。